

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	1
実施計画事業名	防災意識の高揚や地域における防災力の向上		担当部署名	防災課
事業の実施目的及び概要	市民の防災意識の更なる高揚による地域防災力の向上を目的に、自助・共助の重要性を広めるとともに、防災メール発信システムの利用促進や家庭内備蓄（自助備蓄）・地域での備蓄（共助備蓄）の普及啓発を行います。 また、自主防災組織の結成促進や活動を側面から支援するとともに、市民、地域、行政など関係機関が連携した地域防災体制の構築に向けた取組を推進します。			
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市国土強靱化地域計画 印西市地域防災計画 消防組織法 消防法	
取組方針	防災意識の高揚や地域における 防災力の向上（自助・共助）			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  11 持続可能な都市を築く  13 気候変動に具体的な対策を  17 パートナリーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容（第5次実施計画）（★は市長公約事項）

単位：千円

	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）	令和9年度（2027年度）
年度別の実施内容 （具体的な内容 及び数量）	・ハザードマップ、総合防災ブックの 随時配布による周知 ★総合防災訓練の実施 ・防災学習会の開催 ・防災ポータルサイトによる情報配 信及び普及啓発 ★自主防災組織活動等への助成 ・自主防災組織リーダー研修会等 の開催	・ハザードマップ、総合防災ブックの 随時配布による周知 ★総合防災訓練の実施 ・防災学習会の開催 ・防災ポータルサイトによる情報配 信及び普及啓発 ★自主防災組織活動等への助成 ・自主防災組織リーダー研修会等 の開催	・ハザードマップ、総合防災ブックの 配布による周知 ★総合防災訓練の実施 ・防災学習会の開催 ・防災ポータルサイトによる情報配 信及び普及啓発 ★自主防災組織活動等への助成 ・自主防災組織リーダー研修会等 の開催
事業費	20,173千円	20,173千円	20,173千円

3. 事業実績等

単位：円

令和7年度の 事業実績・成果	・ハザードマップ、総合防災ガイドブックの随時配布実施 ・総合防災訓練の実施（滝野中学校区、会場：滝野小・中学校） ・広報等による自助・共助等普及啓発の実施 ・防災ポータルサイトの運用 ・自主防災組織への設置助成及び活動助成の実施 ・自主防災組織リーダー研修会・防災講座（出前講座）の実施	当初予算	20,173,000円
		予算現額	19,053,000円
		決算額	15,297,200円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	防災情報の広報紙等による啓発	回	目標値	6	6	6	10	10
			実績値	8	10	7	12	16
	総合防災訓練の実施	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	自主防災組織結成に向けた広 報紙等による啓発	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	7	9	7
			目標値					
			実績値					
成果指標	防災メール等の登録者数	人	目標値	15,000	17,000	19,000	23,000	25,000
			実績値	15,171	21,162	24,324	25,296	30,424
	総合防災訓練自治会等参加率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	50	47	89	93	61
	自主防災組織活動カバー率（自 主防加入世帯/市の世帯）	%	目標値	80	81	82	83	84
			実績値	78	78	80	82	81
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考（評価結果へのコメント又は項目についての課題）
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	防災メール等の登録者数については大幅に増加したが、総合防災訓練の参加率は下降し、自主防災組織のカバー率は横ばいであった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	総合防災訓練については自治会としての参加率は下降したが、来場者数は増加した（R6：925人→R7：1062人）。自主防災組織のカバー世帯数は増加したが、それ以上に市の世帯数が増加した。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
災害における被害を軽減するには、防災に対する各種対策等の普及啓発が重要であるため、引き続き実施していく。

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名（大事業予算）
	8-1-5	災害対策費	防災意識啓発事業
	8-1-5	災害対策費	自主防災組織助成事業
	8-1-5	災害対策費	災害対策事務に要する経費

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	2
1. 事業の概要				
実施計画事業名	防災・減災基盤の充実		担当部署名	防災課
事業の実施目的 及び概要	災害に強い防災・減災基盤の整備を目的に、災害時、いかなる状況下においても市民に迅速かつ的確に情報を伝達するため、防災行政無線以外の情報伝達手段の多様化を推進し、将来的に更新が必要となる子局等の更新計画の策定に取り組みます。 また、避難所においては、感染症に配慮した資機材の整備、停電対策としての非常用電源の確保、災害用トイレの多様化や暑さ対策など、避難所における生活環境の改善と衛生管理を推進し、公助備蓄に対応するための防災備蓄拠点の整備に取り組むとともに、災害時における飲料水及び生活用水を確保するための災害用井戸の整備を計画的に実施し、併せて、災害時協力井戸制度の普及・啓発に努めます。			
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市国土強靱化地域計画 印西市地域防災計画	
取組方針	防災・減災基盤の充実（公助）			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 平和と正義  11 安全で安心なまちづくり  13 気候変動に適合すること  17 パートナーシップで目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容（第5次実施計画）（★は市長公約事項）

単位：千円

	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）	令和9年度（2027年度）
年度別の事業計画 （具体的な内容 及び数量）	・災害用井戸の設計（2箇所） ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ（指定避難所）設置（2箇所） ★災害用資機材（トイレ・段ボールベッド等）の購入 ★災害協定の確認及び新規締結 ・防災行政無線子局等の適正な運用管理 ・国土強靱化地域計画の改訂	・災害用井戸の整備工事（2箇所） ・災害用井戸の設計（2箇所） ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ★災害用資機材の購入 ★災害協定の確認及び新規締結 ・防災行政無線子局等の適正な運用管理 ・防災アセスメント調査の実施	・災害用井戸の整備工事（2箇所） ・災害用井戸の設計（2箇所） ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ★災害用資機材の購入 ★災害協定の確認及び新規締結 ・防災行政無線子局等の適正な運用管理 ・地域防災計画の改訂
事業費	103,543千円	98,990千円	86,736千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名（大事業予算）
	8-1-5	災害対策費	防災施設管理に要する経費
	8-1-5	災害対策費	災害応急対策資機材整備事業
	8-1-5	災害対策費	災害用井戸整備事業
	8-1-5	災害対策費	地域防災計画に要する経費

3. 事業実績等

単位：円

令和7年度の 事業実績・成果	・災害用井戸設計（5カ所）実施 ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ（指定避難所）設置工事（印旛中学校、滝野中学校） ・災害用備蓄食料・資機材の購入 ・災害協定の確認及び新規締結（1件） ・防災行政無線子局等の状況に応じた交換等を実施 ・国土強靱化地域計画の改訂の実施	当初予算	103,543,000円
		予算現額	83,254,000円
		決算額	75,625,295円
		翌年度繰越額	2,898,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	災害用井戸の設置数	箇所	目標値	6	7	8	9	－
			実績値	6	7	8	9	－
	マンホールトイレの設置数	箇所	目標値	－	2	4	6	8
			実績値	－	2	4	6	8
	災害時協力井戸制度の普及・啓発	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	1	8	8	9	6
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	災害用井戸の設置率（全9箇所）	%	目標値	66	77	88	100	－
			実績値	66	77	88	100	－
	マンホールトイレの設置率（全8箇所）	%	目標値	－	25	50	75	100
			実績値	－	25	50	75	100
	災害時協力井戸の登録者数	人	目標値	20	30	40	50	60
			実績値	9	13	16	21	23
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考（評価結果へのコメント又は項目についての課題）
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	災害時協力井戸の登録者数は目標に達しなかったが、前年度より増やすことができた。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	災害時協力井戸の登録者数は目標に達しなかったが、前年度より増やすことができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
・大規模災害時には、物流、流通機能等が停止することから、引き続き計画的に非常食の備蓄に努める。また、避難所においては災害用マンホールトイレを維持管理するとともに、資機材等を整備する。なお、災害用井戸設置については計画通り実施することができた。 ・引き続き、災害時協力井戸の周知啓発に努める。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	3
実施計画事業名	消防体制の拡充		担当部署名	防災課
事業の実施目的 及び概要	消防体制の拡充を目的に、近年、複雑・多様化するあらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守り、これらの災害に迅速かつ的確に対応するため、市、常備消防、消防団の連携を更に強化することで、災害対応力の向上を図ります。 また、消防団がより安全かつ機能的に活動できるよう消防車両や資機材、消防水利などを計画的に整備するとともに、機能別消防団員制度の普及、啓発を図ることで、地域防災の中核的な存在である消防団員の確保に努めます。			
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市国土強靱化地域計画 印西市地域防災計画 消防法 消防組織法	
取組方針	消防・救急体制の維持・拡充			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 1 貧困をなくそう  11 包摂的で持続可能なまちづくりを推進  13 気候変動に具体的な対策を  17 パートナーシップで目標を達成しよう			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫新築工事(1棟)・解体工事(1棟) ・防火水槽設置及び補修等工事	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫新築・解体設計業務(1棟) ・防火水槽補修等工事	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫新築・解体工事(1棟)、新築・解体設計業務(1棟) ・防火水槽補修等工事
事業費	169,241千円	97,408千円	142,277千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	8-1-2	非常備消防費	消防団運営活動に要する経費
	8-1-3	災害対策費	消防施設維持管理に要する経費
	8-1-3	災害対策費	防火水槽整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入(ホース、ガンタイプ管槍など) ・消防団器具庫1-1(木下)新築工事、4-12(中の口)解体工事 ・防火水槽(松崎地区)設置工事 ・防火水槽(中根地区)設置工事	当初予算	169,241,000円
		予算現額	175,580,000円
		決算額	151,273,101円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	消防団員の確保に向けた啓発活動	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	7	15	15	15
	消防団器具庫の更新数	棟	目標値	—	1	3	5	7
			実績値	—	1	2	4	5
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	消防団員の充足率	%	目標値	79.6	79.7	79.8	79.9	80.0
			実績値	77.1	75.5	73.7	69.2	70.7
	消防団器具庫の更新率(全14棟)	%	目標値	—	7	21	35	50
			実績値	—	7	14	29	36
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	消防団員の充足率については、目標値に達しなかったが、令和7年度実績値は前年度から増加した。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	消防団員の充足率については、目標値に達しなかったが、令和7年度実績値は前年度から増加した。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
今後も消防団員が安全かつ機能的に活動できるよう消防車両や資機材、消防団器具庫及び消防水利などを計画的に整備していく。 また、消防団員数については、現在も減少傾向にあるため、国県の動向等を踏まえ更なる処遇改善等の検討を進めるとともに、啓発等を実施し団員確保に努めていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	4
実施計画事業名	防犯対策の推進		担当部署名	市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るとともに、市民、各種団体、関係機関及び行政が協力・連携し、犯罪の抑止に向けた取組を推進します。 また、近年、悪質化、巧妙化が進んでいる特殊詐欺や新たな犯罪に市民が巻き込まれないよう、情報提供や犯罪被害者等の相談に努めます。			
関連施策	【1-2】 防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市安全で安心なまちづくり推進 条例及び同条例施行規則 印西市暴力団排除条例 印西市犯罪被害者等支援条例及び 同条例施行規則	
取組方針	防犯対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を  16 平和と正義を すべての人に  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ★街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付 ・電話de詐欺対策機器貸与 ★家庭用防犯カメラ購入費助成金の交付	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ★街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付 ・電話de詐欺対策機器貸与 ★家庭用防犯カメラ購入費助成金の交付	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ★街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付 ・電話de詐欺対策機器貸与 ★家庭用防犯カメラ購入費助成金の交付
事業費	100,846千円	100,846千円	100,846千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-13	諸費	防犯対策に要する経費
	2-1-13	諸費	防犯活動拠点施設運営費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・自主防犯活動組織への補助金交付及び犯罪発生状況等の説明 ・市内犯罪発生状況を市HP及びXに掲載(月2回) ・市内犯罪発生状況を登録者にE-mailやFAXで配信(月2回) ・地区別字別犯罪発生状況を市HPに掲載(毎月) ・警察と連携した合同パトロール(毎月) ・青色回転灯装着車両によるパトロール業務(289日) ・防犯灯の新設(59台)及び維持管理 ・団体への防犯講話の実施(16回) ・街頭での防犯啓発活動の実施(10回) ・街頭防犯カメラの管理及び運用(駅ロータリー49台) ・防犯カメラ設置補助事業の補助金交付(相談のみ) ・電話de詐欺対策機器貸与(29台) ・家庭用防犯カメラ購入費助成金交付(220件)	当初予算	100,846,000円
		予算現額	115,787,000円
		決算額	100,177,928円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	地域安全パトロールの実施(青色灯搭載車による)	日	目標値	260	260	260	260	260
			実績値	286	285	285	287	289
	新設防犯灯数	灯	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	89	66	61	51	59
	市民安全情報の配信	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24	24	24
	防犯パトロール回数	回	目標値	940	940	940	940	940
			実績値	771	606	666	686	1,082
成果指標	市民安全パトロール隊の隊数	隊	目標値	13	13	13	13	13
			実績値	13	10	10	13	13
	印西市内での刑法犯認知件数(暦年)	件	目標値	560	550	540	530	520
			実績値	513	581	648	680	771
	印西市内での刑法犯(窃盗犯)認知件数(暦年)	件	目標値	430	420	410	400	390
			実績値	427	461	506	556	628
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新設防犯灯数は目標値を下回っているがパトロールについては目標値を上回る日数及び回数で実施。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	市内での刑法犯認知件数及び刑法犯(窃盗犯)認知件数が目標値に届かなかった。犯罪発生情報を自主防犯活動組織と共有し、また警察と連携を図りパトロールや啓発活動に努める。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	犯罪発生情報を周知し、警察と連携を図りパトロールや啓発活動に努め、更なる防犯対策意識の醸成を図る。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市や自主防犯活動組織による防犯活動のほか、犯罪被害者等の救済のための見舞金制度や、町内会・自治会等による防犯カメラ設置に対する補助、家庭用防犯カメラ購入費助成を実施し、防犯意識の高揚と安全で安心なまちづくりの推進に引き続き務める。また、犯罪等の抑止活動について関連団体・機関と連携し強化を図る。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	5
実施計画事業名	交通安全対策の推進		担当部署名	市民活動推進課 道路維持課
事業の実施目的 及び概要	交通安全意識を高める取組と合わせて交通安全施設等の整備を進め、特に交通弱者と呼ばれる高齢者や児童等への交通安全対策を図り、交通事故の防止に努めます。			
関連施策	【1-2】 防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市自転車の安全・安心利用に関する条例 印西市自転車安全総合推進計画 印西市交通安全計画	
取組方針	交通安全対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を  16 平和と公正を すべての人に  17 パートナーシップで 課題を解決しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	【交通安全教室・スクアードストリート】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 ・自転車用ヘルメット助成 【関係計画作成】 ・第12次印西市交通安全計画策定 【交通安全施設等整備】 ★交通安全施設工事の実施 【放置自転車対策】 ・放置自転車の巡視・警告・撤去 【自転車駐車場管理運営】 ・防犯カメラレコーダー更新	【交通安全教室・スクアードストリート】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 ・自転車用ヘルメット助成 【交通安全施設等整備】 ★交通安全施設工事の実施 【放置自転車対策】 ・放置自転車の巡視・警告・撤去 【自転車駐車場管理運営】 ・千葉ニュータウン中央駅北口自転車駐車場保全改修工事実施設計 ・木下駅北口自転車駐車場保全改修工事実施設計	【交通安全教室・スクアードストリート】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 ・自転車用ヘルメット助成 【交通安全施設等整備】 ★交通安全施設工事の実施 【放置自転車対策】 ・放置自転車の巡視・警告・撤去 【自転車駐車場管理運営】 ・千葉ニュータウン中央駅北口自転車駐車場保全改修工事 ・木下駅北口自転車駐車場保全改修工事 ・小林駅南口自転車駐車場保全改修工事実施設計
事業費	47,580千円	63,600千円	197,600千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	2-1-8	交通安全対策費	交通安全対策事業
	2-1-8	交通安全対策費	自転車駐車場管理運営に要する経費
	2-1-8	交通安全対策費	放置自転車等対策事業
	2-1-8	交通安全対策費	交通安全対策施設整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・幼稚園、保育園、小中学校、高齢者クラブを対象とした交通安全教室及び各交通安全運動期間等の街頭啓発や児童登校時の見守り活動を実施した。 ・年間を通じ、交通安全パトロールを実施した。 ・自転車乗車用ヘルメット着用促進に関する啓発チラシを街頭啓発時で周知した。 ・放置自転車の巡視・警告・撤去業務を実施した。 ・自転車乗車用ヘルメット購入費助成金の申請に関し、チラシや広報等で周知に努めた。 ・交通安全施設工事の実施 (区画線 L=9, 237m／道路反射鏡 N=32基／標識 N=18基／車止め N=38基／車両用防護柵 L=89m/横断防止柵 L=557m/防草コンクリート L=472m)	当初予算	47,580,000円
		予算現額	109,180,000円
		決算額	97,198,081円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	交通安全教室の実施回数	回	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	6	60	71	72	71
	街頭啓発活動	回	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	13	15	18	23	21
	放置自転車の巡視・警告・撤去	日	目標値	240	240	240	240	240
			実績値	242	240	243	208	243
	道路パトロール	日	目標値	208	208	208	208	208
			実績値	242	243	243	243	255
成果指標			目標値					
			実績値					
	印西市市内での交通人身事故発生件数	件	目標値	204	199	195	192	190
			実績値	179	218	233	240	292
	放置自転車の撤去台数	台	目標値	70	65	60	55	50
			実績値	55	63	89	78	140
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	成果指標である市内での交通人身事故発生件数及び放置自転車の撤去台数ともに増加となった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	交通安全対策及び放置自転車対策に関する活動は計画通り実施ができたものの、交通人身事故発生件数や放置自転車の撤去台数は増加傾向となってしまうている。増加の要因については、人口の増加や大型商業施設等への来街者が増えた影響が一因と思われる。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
引き続き、交通安全教室や啓発活動を通じ、交通安全意識の高揚を図るとともに、放置自転車対策として駅周辺を中心に、巡視を行っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号	6
------	---

1. 事業の概要

実施計画事業名	消費者被害の防止	担当部署名	経済振興課
事業の実施目的 及び概要	近年、悪質化、巧妙化が進んでいる特殊詐欺や契約に関するトラブルに巻き込まれないよう、情報提供や相談体制の充実を図ります。		
関連施策	【1-2】 防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例及び同条例施行規則
取組方針	消費者被害の防止		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を  16 平和と公正を すべての人に  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 ・相談体制の充実	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 ・相談体制の充実	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 ・相談体制の充実
事業費	14,228千円	14,228千円	14,228千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	6-1-3	消費者行政推進費	消費者行政推進事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・消費者トラブルを未然に防止するため、相談の多い事例や対処方法の紹介、その時々消費生活に関するお知らせを広報紙で周知を行った。 ・消費者教育に関する啓発物資を作成し、市民への意識啓発及び情報提供を行った。 ・主に高齢者や新成人に対し、消費生活に関する講座を実施し、市民への消費者教育を推進した。 ・消費生活上の問題に関する相談に消費生活センターの相談員が応じ、必要な助言・指導を行った。 ・消費生活相談員の報酬を改定するほか、各種研修への参加や弁護士による勉強会を開催し、相談員の処遇改善や能力向上を図った。	当初予算	14,228,000円
		予算現額	14,665,000円
		決算額	12,153,264円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報紙への啓発記事掲載回数	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	12
	消費生活講座等開催回数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2	4	5	5	5
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	新規相談件数	件	目標値	500	500	500	500	500
			実績値	605	612	671	672	806
	消費生活講座の受講者数	人	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	193	205	60	243	254
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
消費者被害を防止するため、引き続き消費生活相談に関する情報提供や相談、消費生活講座等の充実を図っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	7
1. 事業の概要				
実施計画事業名	地域福祉の推進と支援体制の構築		担当部署名	社会福祉課
事業の実施目的 及び概要	「市民」はまちづくりの主役であり、地域福祉の推進には、市民が主体となった地域活動が不可欠です。「介護」「障がい」「子育て」「困窮」等地域に住む市民たちの抱える問題は複雑化・複合化してきています。また、高齢化の進展や人間関係の希薄化等により、「共助」の重要性がより高まっている中で、縦割り型の支援体制から組織を超えた横断的な支援体制の構築とともに、地域における包括的な支援体制の構築が求められています。 このため、市では、人材確保・育成活躍の場の提供などによる社会参加への支援を行っていきます。また、「市民」「地域活動団体」「社会福祉法人」「NPO法人」「民生委員・児童委員」「行政」といった地域福祉を担う構成員の連携による地域福祉ネットワークの構築を進めるとともに、包括的な相談体制の構築など地域福祉力の向上に向けた支援体制づくりを進めていきます。			
関連施策	【1-3】 地域共生社会の実現		根拠法令 関連計画	社会福祉法 印西市地域福祉計画 民生委員法 児童福祉法
取組方針	市民の福祉意識向上と人材確保・育成/ 包括的な支援の実現に向けた体制づくり			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1貧乏をなくそう 10人や国の不平等をなくそう 11住み続けたいまちづくりを 16平和と公正を築こう 17パートナーシップで目標を達成しよう			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ★民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ★社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の運営 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設への福祉の総合相談窓口の設置 ・第4次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理 ・第5次印西市地域福祉計画策定 ・地域福祉活動の場の提供(地域福祉センター、草深ふれあい市民センター及び牧の原地域交流センター) ・重層的支援体制整備事業の試行実施	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ★民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ★社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の運営 ・第5次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理 ・地域福祉活動の場の提供(地域福祉センター、草深ふれあい市民センター及び牧の原地域交流センター) ・重層的支援体制整備事業の試行実施	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ★民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ★社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の運営 ・第5次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理 ・地域福祉活動の場の提供(地域福祉センター、草深ふれあい市民センター及び牧の原地域交流センター) ・重層的支援体制整備事業の実施
事業費	118,111千円	119,211千円	110,072千円

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・広報紙・ホームページに、民生委員・児童委員の活動紹介等の地域福祉に関する記事を掲載し、市民の福祉意識の向上を図った。 ・社会福祉協議会等との連携や民生委員・児童委員の活動支援を行い、地域福祉の向上に努めた。 ・福祉の総合相談窓口において、どこに相談したらよいかわからない方(窓口・電話)への案内及び情報提供を行った。 ・第4次印西市地域福祉計画の進行管理を行うとともに、第5次地域福祉計画を策定した。 ・地域福祉センター、草深ふれあい市民センター及び牧の原地域交流センターでの貸館の実施により、福祉団体等に活動の場を提供し、福祉活動の推進を図った。 ・重層的支援体制整備事業の実施に向けて検討を行うとともに、研修やワークショップをととして制度の理解に努めた。 ・コスモスパレットⅡへ福祉の総合相談窓口を設置した。	当初予算	118,111,000円
		予算現額	119,045,000円
		決算額	106,896,027円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	民生委員・児童委員数	人	目標値	130	135	140	145	150
			実績値	129	112	128	130	110
	地域福祉の情報発信数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	7	7	7	7
	福祉の総合相談窓口	か所	目標値	1	1	1	1	2
			実績値	1	1	1	1	2
成果指標	民生委員・児童委員の活動数(活動日誌)	件	目標値	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
			実績値	5,835	6,742	9,716	9,849	9,128
	ボランティアセンター登録者数	人	目標値	1,400	1,550	1,700	1,850	2,000
			実績値	959	856	906	1,271	1,257
	総合相談窓口相談件数	件	目標値	50	70	80	250	300
			実績値	197	203	199	169	178
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	令和7年度に定数の見直しをおこない定数増となったが、一斉改選があったことから、令和8年度以降に委嘱する委員が増加することから充足率が上がるものとする。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	社会福祉協議会と連携し、ボランティアセンター登録体制の見直し等を行う必要がある。また、総合相談窓口については、今後も継続し状況の把握に努める。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	民生委員・児童委員及びボランティアセンターを管理する社会福祉協議会の体制の改善が必要とする。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
民生委員・児童委員は令和7年度に定数を見直しを行い、また令和8年度4月1日より活動費の見直しを行ったことから今後の成果に期待する。また民生委員の困りごとについて情報収集し、少しでも参加しやすい環境を整えるようにする。 ボランティアセンターの登録数の増加については、社会福祉協議会との連携により、災害ボランティアに係る協定の締結等、新たなアクションが必要とする。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号	8
------	---

1. 事業の概要

実施計画事業名	多様化・複合化する地域福祉課題への対応	担当部署名	社会福祉課
事業の実施目的 及び概要	近年、大規模な自然災害の発生や新手の特殊詐欺・サイバー犯罪の増加、新型コロナウイルス感染症の流行等、市民の安全を脅かす要因が増加する中、特に、高齢者や障がい者等の支援が必要な人を地域ぐるみで守っていけるよう、地域人材を活用した防災・防犯体制を構築・推進していくとともに、市民の生活面に重大な影響を及ぼすことになりうる「生活困窮」「自殺」「ひきこもり」「8050問題」「ダブルケア」などの地域福祉が抱える様々な問題への対策についても取り組んでいきます。		
関連施策	【1-3】 地域共生社会の実現	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市避難行動要支援者避難計画 生活困窮者自立支援法 生活保護法 印西市地域福祉計画 印西市成年後見制度利用促進基本計画
取組方針	多様化・複合化する課題への対応		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  10 人や国の平等を促進しよう  11 住み続けられるまちづくりを  16 平和と公正をすべての人に  17 パートナーシップで目標を達成しよう 		

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・生活困窮者等に対する住居確保給付金の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図るため、被保護者就労支援事業の実施 ・成年後見制度の適切な利用促進を図るため、成年後見支援センターと関係機関が連携した相談支援の実施	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・生活困窮者等に対する住居確保給付金の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図るため、被保護者就労支援事業の実施 ・成年後見制度の適切な利用促進を図るため、成年後見支援センターと関係機関が連携した相談支援の実施	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・生活困窮者等に対する住居確保給付金の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図るため、被保護者就労支援事業の実施 ・成年後見制度の適切な利用促進を図るため、成年後見支援センターと関係機関が連携した相談支援の実施
事業費	141,558千円	143,158千円	134,019千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-1-1	社会総務費	社会福祉総務事務に要する経費
	3-1-1	社会総務費	社会福祉推進事業
	3-1-1	社会総務費	生活困窮者自立支援事業に要する経費
	3-4-1	生活保護総務費	生活保護事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・避難行動要支援者同意者名簿作成のため、避難行動要支援対象者に個別に通知を発送し、同意者名簿に掲載してよいか、また、支援者となり得る関係団体(町内会や民生委員等)に名簿を提供してよいか確認するため同意書の提出をしてもらった。また、システムにおいて名簿等の管理を行い、有事に迅速に対応・活用できるようにした。 ・生活困窮者自立支援事業について、毎月1日号の広報に生活困窮相談を行っている旨を掲載(「今月の各種相談」コーナー)する他、ホームページにも生活困窮者に対する支援制度などの情報掲載を行った。また、委託先事業所でもチラシを作成し、周知に努めた。 ・住居確保給付金を5世帯に給付した。 ・被保護者就労支援事業においては、被保護者本人・就労支援員・担当ケースワーカーによる三者面談や「被保護者就労支援会議」を開催し、就労支援の方向性などを検討した。	当初予算	141,558,000円
		予算現額	217,544,000円
		決算額	212,194,948円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	避難行動要支援者同意者数	人	目標値	2,100	2,500	2,700	2,900	3,100
			実績値	2,399	2,686	2,412	2,609	2,794
	自立支援事業の広報等による周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
	被保護者就労支援事業利用者数	人	目標値	15	15	20	20	25
			実績値	20	10	21	18	24
	成年後見支援センターの広報等による周知	回	目標値	—	—	—	3	3
			実績値	—	—	—	4	4
成果指標	避難行動要支援者個別計画作成件数	件	目標値	50	125	216	232	248
			実績値	103	157	216	235	180
	自立相談事業による相談件数	人	目標値	200	210	220	230	240
			実績値	267	188	207	133	158
	被保護者就労支援事業を利用し増収した者	人	目標値	5	7	10	10	15
			実績値	9	9	6	2	6
	成年後見支援センター相談件数	人	目標値	—	—	—	30	35
			実績値	—	—	—	47	56
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	避難行動要支援者避難計画、生活困窮者自立支援制度、成年後見制度の周知に努め、利用者等の増加を図っていく。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	自立相談事業相談件数及び被保護者就労支援事業を利用し増収した者が目標に届かなかったが、今後も関係機関等と連携し支援を継続していく。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	自立相談事業による相談件数が減少傾向にあるが、以前はコロナを理由とした困窮相談件数が多かったため。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
今後も市民が安心して生活できるよう、関係機関や地域の団体と連携し、継続して各事業を実施していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	9
実施計画事業名	高齢者の生きがいがいづくりと社会参加の促進		担当部署名	高齢者福祉課
事業の実施目的 及び概要	高齢者の多様な交流の促進を図り、いつまでも元気で住み慣れた地域に住み続けられるよう、老人福祉センター等の施設を提供及び各種事業を実施するほか、高齢者クラブが高齢者の生きがいがいづくりや孤立化防止に資するような自主的活動団体となるよう支援します。 また、高齢者が長年培ってきた経験・知識・技能を発揮し、生きがいを持って社会に参加しつつ生活の安定も享受できるよう、臨時的・短期的な就業を提供するシルバー人材センターの運営を支援します。			
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 老人福祉法 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	高齢者の生きがいがいづくりと社会参加の促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・老人福祉センター3館(中央・高花・そうふけ)、憩いの家(滝野)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターへの活動支援 ・総合福祉センターの保全改修工事の設計及び工事の実施 ・高齢者就労支援センターの給水設備更新工事の設計及び工事の実施 ・保健福祉センターの受変電設備改修工事の実施	・老人福祉センター2館(高花・そうふけ)、憩いの家(滝野)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターへの活動支援 ・総合福祉センターの保全改修工事の実施 ・高齢者就労支援センターの給水設備更新工事の実施	・老人福祉センター3館(中央・高花・そうふけ)、憩いの家(滝野)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターへの活動支援
事業費	233,016千円	1,710,371千円	192,913千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者生きがい事業
	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者就労支援センター運営に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	総合福祉センター施設管理に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	保健福祉センター運営事務に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	保健福祉センター施設管理に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	高花老人福祉センター事業に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	そうふけ老人福祉センター事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	老人福祉センター等では、高齢者の生きがいがづくりや健康の維持、教養の向上などを目的に、主催事業を235日実施した。また、自由来館の場を設け、高齢者同士の交流を図るとともに、サークルなどを通じて生きがいがづくりの推進を図り、老人福祉センター等4施設で延べ42,467人の方が利用した。 高齢者クラブの活動は、高齢者の生きがいがづくりや体の健康の維持、社会参加促進を目的としており、社会奉仕活動やサークル活動、健康増進活動など積極的な活動が見られる。 シルバー人材センターの入会説明会参加者に対しては、高齢者就労支援センターの紹介や就業情報の提供を目的として、「ハローワーク成田」等を案内した。 高齢者就労支援センターでは、高齢者の就労を支援するための講座・講習会を55回開催し、延べ利用人数は1,441人であった。 総合福祉センターの保全改修工事は設計を終え、令和8年度から実施できるよう工事の契約締結を行った。高齢者就労支援センターの給水設備更新工事は、設計を終えて工事に着手開始した。また、保健福祉センターの受変電設備の工事は完了した。	当初予算	233,016,000円
		予算現額	252,993,000円
		決算額	228,803,601円
		翌年度繰越額	18,086,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	老人福祉センター等施設の主催事業開催日数	日	目標値	170	170	200	200	200
			実績値	183	167	224	223	235
	シルバー人材センター登録会員数	人	目標値	450	455	460	500	520
			実績値	404	447	449	450	463
	就業支援講座・講習会の開催数	回	目標値	5	5	5	48	48
			実績値	3	7	26	53	55
			目標値					
			実績値					
成果指標	老人福祉センター等施設の延べ利用者数	人	目標値	50,000	50,000	55,000	55,000	44,000
			実績値	27,222	30,617	51,361	46,469	42,467
	シルバー人材センター受注事業件数	件	目標値	2,300	2,350	2,400	2,450	2,500
			実績値	2,260	2,469	2,428	2,536	2,326
	シルバー人材センター就業延べ人員	人	目標値	50,000	50,100	50,200	50,300	50,400
			実績値	46,842	48,458	44,965	45,475	42,767
	高齢者クラブ登録会員数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	1,500	1,500
			実績値	1,812	1,625	1,482	1,380	1,147
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	就労支援センターの就業支援講座をはじめ全体的に目標値を達成することができた。シルバー人材センターの登録会員数については、対前年度比で増加したが目標値に届かなかったことから、今後も支援に努め会員数の増加を図りたい。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	シルバー人材センターの会員数は前年度に比べて増加した。受注事業件数及び就業延べ人数は減少したが、シルバー人材センターを常に介さない派遣契約が増加したためであり、就業につながった延べ人数としては増加した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	全体的に概ね目標値どおりの結果であったが、目標値の達成できていないものもあるため、今後も目標値以上の結果になるよう努めたい。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
老人福祉センターや就労支援センターについては、引き続き利用者の増加に努める。就労支援センターの機能強化を目的とし、就労支援講座・講習会の開催数を増やすとともに、企業説明会等をはじめとした就労相談体制を整える。 シルバー人材センターや高齢者クラブ連合会などの運営についても、目標値の達成を目指し継続して支援をしていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	10
実施計画事業名	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運営		担当部署名	高齢者福祉課
事業の実施目的及び概要	各種介護予防事業の取組により、要介護状態になることを予防するとともに、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続することができるように支援します。 また、加齢に伴い生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴・排泄・食事等の介護を要する方に対して、自立した日常生活を営むことができるよう、必要なサービスの給付を行います。			
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 地域支援事業実施要綱(国) 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 1 貧困をなくそう  3 健康と長寿を促す  11 持続可能な都市を築く			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	★介護予防事業の実施(ちょきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業の実施 ・高齢者の介護予防把握事業の実施 ・介護予防・生活支援サービス事業の実施 ・介護予防普及啓発講演会(隔年) ・介護サービスの給付 ★介護人材の確保及び施設の充実化 ・第9期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の推進及び進捗管理 ・第10期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定に係る市民アンケート等の実施	★介護予防事業の実施(ちょきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業の実施 ・高齢者の介護予防把握事業の実施 ・介護予防・生活支援サービス事業の実施 ・介護サービスの給付 ★介護人材の確保及び施設の充実化 ・第9期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の推進及び進捗管理 ・第10期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定	★介護予防事業の実施(ちょきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業の実施 ・高齢者の介護予防把握事業の実施 ・介護予防・生活支援サービス事業の実施 ・介護サービスの給付 ★介護人材の確保及び施設の充実化 ・第10期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の推進及び進捗管理
事業費	6,588,065千円	6,900,070千円	6,893,636千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-2-1	高齢者福祉総務費	介護人材育成事業、介護施設等整備事業
	【介護保険特別会計予算】		
	1-1-1	総務管理費	介護保険運営管理に要する経費、介護保険事業計画策定事業
	2-1-1 ～ 2-1-6	介護サービス費	施設サービス給付事業、居宅サービス給付事業、地域密着型サービス給付事業、特定入所者介護サービス給付事業、居宅介護支援サービス諸費給付事業、審査支払に要する経費
	2-2-1 ～ 2-2-4	介護予防サービス費	介護予防サービス給付事業、地域密着型介護予防サービス給付事業、介護予防支援サービス諸費給付事業、特定入所者介護予防サービス給付事業
	3-1-2	介護予防・日常生活支援総合事業費	介護予防・日常生活支援総合事業、審査支払に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	いんざい健康ちょきん運動では、参加者の高齢化や会場確保が難しいなどから、活動をやめる団体もあるが、全体のグループ数としては維持することができ、新規加入者が200名程度あった。また、今までちょきん運動がなかった地域でも立ち上がる予定もある。 介護予防把握事業では、介護認定を受けていない75歳以上11,114名に健やかチェックアンケートを送付し、6,359名が回答(回答率57.2%)あり。その結果、フレイルリスクのある3,525名にフレイル予防に関して普及・啓発を行った。また、介護予防教室では計76名が参加。 介護予防普及啓発講演会では、自分らしい暮らしを続けるためのヒントを学ぶことを目的とし開催。定員50名のところ56名が参加した。 令和8年3月から、「第10期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の策定に向けたアンケート調査を開始した。 介護職員初任者研修等費用助成実績は、初任者研修1件、実務者研修5件。初任者研修助成を受けた方で、実務者研修を受けている方が2名おり、介護職のキャリアアップ支援につながっていると考えている。	当初予算	6,588,065,000円
		予算現額	6,490,279,000円
		決算額	6,253,929,326円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ちょきん運動出前講座	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	2	5	7	3	2
	介護予防事業の周知活動(介護保険証に同封、窓口設置モニター掲載、HP・広報掲載等)	回	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	19	28	24	33	24
	介護支援ボランティアの登録人数	人	目標値	100	110	120	55	60
			実績値	48	43	54	57	64
	介護職員初任者研修等費用助成	人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	4	6	3	6
成果指標	ちょきん運動参加者人数	人	目標値	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000
			実績値	1,059	1,307	1,412	1,445	1,530
	ちょきん運動実施グループ数	グループ	目標値	75	79	83	87	91
			実績値	72	75	83	86	86
	介護支援ボランティアの受入施設	事業所	目標値	26	27	28	29	38
			実績値	26	34	34	36	38
	研修費用助成による市内介護保険サービス事業所への就業者数	人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	4	6	3	6
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	事業の周知を予定通り実施できた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ちょきんグループ数は目標値に達しなかったが、参加者数は増加した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	ちょきん運動グループ数が維持でき、介護予防の周知活動は計画通り実施できた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等	
ちょきん運動は介護予防だけでなく地域の支え合いの役割も果たすものと考えているため、活動の維持や活性化のため幅広い年代にその効果や活動方法を周知する必要がある。そのため、商業施設での体験会等これまでになかった周知方法を企画、実施していく。また、参加者の高齢化に伴い、担い手不足や事務の負担が大きいという課題もあるため、事務の簡略化を図り、負担軽減に取り組んでいく。 研修費用助成では、介護分野への新規就業を促すことを目的に「生活援助従事者研修」を追加する。	

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	11
実施計画事業名	地域包括ケアシステムの推進		担当部署名	高齢者福祉課
事業の実施目的 及び概要	高齢者ができるだけ要支援・要介護状態にならず、住み慣れた地域で安心して暮らし、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、介護予防と生活支援の観点から、地域の多様な社会資源を本人が活用できるような地域包括ケアの実現のために、地域包括ケアシステムの深化・推進及び各種生活支援サービスを実施します。また、その中核となる地域包括支援センターの運営を継続し深化させていきます。			
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 地域支援事業実施要綱(国) 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	地域包括ケアシステムの推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)				単位:千円
	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)	
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	★地域包括支援センター(5か所)の運営及び市民への周知啓発 ★在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの深化・推進	★地域包括支援センター(5か所)の運営及び市民への周知啓発 ★在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの深化・推進	★地域包括支援センター(5か所)の運営及び市民への周知啓発 ★在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの深化・推進	
	各種生活支援サービス事業の実施 ★外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ★福祉タクシー事業 ★高齢者ふれあいバス等無償化 ・高齢者補聴器購入費助成事業 ・高齢者等配食サービス事業 ・福祉カー貸付事業	各種生活支援サービス事業の実施 ★外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ★福祉タクシー事業 ★高齢者ふれあいバス等無償化 ・高齢者補聴器購入費助成事業 ・高齢者等配食サービス事業 ・福祉カー貸付事業	各種生活支援サービス事業の実施 ★外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ★福祉タクシー事業 ★高齢者ふれあいバス等無償化 ・高齢者補聴器購入費助成事業 ・高齢者等配食サービス事業 ・福祉カー貸付事業	
事業費	271,555千円	271,555千円	271,555千円	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者在宅福祉事業
	【介護保険特別会計予算】		
	3-1-1	包括的支援事業・任意事業費	包括的支援事業・任意事業
	4-1-1	保健福祉事業費	保健福祉事業に要する経費

3. 事業実績等

単位: 円

令和7年度の 事業実績・成果	地域包括支援センターは、平成29年度に設置されてから約9年が経過し、高齢者の総合相談窓口として周知が進んだ結果、相談件数は伸びている。目標値を下回っているが、介護や生活の不安がなく過ごせている高齢者が多いと解釈することもできると考えている。 在宅医療・介護連携の推進のため、多職種が集まる研修と交流の場を2回設け、介護事業所・介護施設のほか、薬局や医療機関、訪問看護などの医療関係者、計90名が参加し、顔の見える関係づくりを行えた。 認知症サポーターでは、小学校14校で実施でき、OJTでは41名の職員がサポーターとなるなど、着実に累計数を伸ばしている。 また、高齢者ふれあいバス等無償化事業は、R7.6から利用範囲を拡大し民間の3路線(宗像路線・六合路線・印旛学園線)も対象となり、無料乗車カードの交付者数も、R6年度855人から、R7年度1,424人へと増えた。	当初予算	271,555,000円
		予算現額	266,423,000円
		決算額	240,248,481円
		翌年度繰越額	—

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	認知症サポーター養成講座の開催	回	目標値	28	28	28	28	28
			実績値	21	30	28	33	24
	外出支援サービス利用実績	件	目標値	400	400	400	600	600
			実績値	342	484	426	334	261
	緊急通報装置の設置実績	件	目標値	35	35	35	35	35
			実績値	41	34	53	50	27
			目標値					
			実績値					
成果指標	総合相談支援利用者数	件	目標値	4,000	4,100	4,200	7,300	7,400
			実績値	5,865	7,296	5,903	5,954	6,133
	認知症サポーター養成数	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,033	1,565	1,316	1,457	1,391
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	外出支援サービス利用実績は目標値を下回ったが、福祉タクシー事業等の利用者が増えたことが要因と言える。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	総合相談に対応する体制の整備、認知症サポーター養成講座の実施が行えた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	事業はほぼ予定通り時実施でき、目標値に近い成果を出せた。

6. 今後の方向性	
今後の方向性や課題等	
高齢化が進む中、地域包括支援センターへの相談件数や認知症の増加が想定されるため、相談体制の整備・強化および、認知症サポーターの増員に努める。さらに、相談対応を行う地域包括支援センターの周知や機能強化、スタッフのスキル向上を図っていく。また、職域での認知症サポーター養成講座の実施が行えるよう働きかけていく。 また、緊急通報装置等サービスにおいては、申請者が安心してサービスを受けられるよう、制度の検討が必要である。	

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	12
実施計画事業名	障がいのある人の地域生活支援の充実		担当部署名	障がい福祉課
事業の実施目的 及び概要	障がいのある人の福祉の増進を図ることを目的とし、障がいのある人が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう事業の推進を図っていきます。			
関連施策	【1-5】 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進	根拠法令 関連計画	障害者基本法 障害者総合支援法 児童福祉法 印西市障害者基本計画 印西市障害福祉計画 印西市障害児福祉計画	
取組方針	障がいのある人の地域生活支援の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  3 すべての人に健康と福祉を  8 働きがいも、経済成長も  10 人や国の平等を  11 住み続けられるまちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・共同生活援助事業の利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成 ・特定疾患見舞金の支給 ・重度心身障害者等への福祉手当の支給 ・軽度難聴児に対する補聴器購入費の助成	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・共同生活援助事業の利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成 ・特定疾患見舞金の支給 ・重度心身障害者等への福祉手当の支給 ・軽度難聴児に対する補聴器購入費の助成	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・共同生活援助事業の利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成 ・特定疾患見舞金の支給 ・重度心身障害者等への福祉手当の支給 ・軽度難聴児に対する補聴器購入費の助成
事業費	3,708,330千円	3,819,563千円	3,934,133千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-1-1	社会福祉総務費	特定疾患見舞金支給事業
	3-1-2	障害福祉費	障害者自立支援給付事業
	3-1-2	障害福祉費	障害者在宅福祉事業
	3-1-2	障害福祉費	障害者援護費
	3-1-2	障害福祉費	難聴児補聴器購入費助成金交付事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付を行った。(児童発達支援478人、放課後等デイサービス424人 保育所等訪問支援106人、補装具171件) ・基幹相談支援センターを設置し、24時間365日の一般相談及び、特定相談支援事業所による障害福祉サービス等の利用支援を行った。(一般相談支援27,140件、計画相談支援2,009件) ・グループホーム運営費の補助及び入居する障がいのある人への家賃の一部を助成することにより、経済的負担の軽減と日常生活の確保を図った。(グループホーム等運営費補助金27事業者、グループホーム等入居者家賃助成144人) ・重度心身障害者の医療費を助成することにより、障がいのある人及びその家族の経済的負担の軽減を図った。(支給件数39,027件) ・特定疾患等による療養者又はその保護者に特定疾患見舞金を支給することにより、生活の安定と福祉の増進を図った。(支給件数886件) ・重度心身障害者等に福祉手当を支給することにより、障害ゆえに生じる負担の軽減と福祉の増進を図った。(支給件数1,438件) ・軽度・中等度難聴児に補聴器購入費を助成することにより、難聴児の健全な言語及び社会性の発達を支援し、福祉の増進を図った。(支給件数11件)	当初予算	3,708,330,000円
		予算現額	4,053,786,000円
		決算額	3,798,435,416円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	障害支援区分認定調査人数	人	目標値	110	116	150	160	200
			実績値	183	152	201	204	175
	一般・特定相談事業所数	所	目標値	7	7	7	8	8
			実績値	7	7	9	9	9
	障害福祉サービス(共同生活援助)利用決定者数	件	目標値	110	115	120	159	185
			実績値	137	149	175	197	218
			目標値					
			実績値					
成果指標	障害福祉サービス利用者数(就労系及び共同生活援助を除く。)	人	目標値	999	1,042	1,085	877	920
			実績値	925	1,012	1,079	1,267	1,496
	相談支援件数	件	目標値	19,500	19,700	23,000	30,000	30,500
			実績値	22,563	25,473	27,136	25,744	27,140
	グループホーム等への入居者数	人	目標値	95	100	105	130	140
			実績値	125	132	161	181	213
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
障害福祉サービスの需要が年々増加する中、特に児童分野においてサービス利用が増加している状況を踏まえ、事業所の整備や人材の確保などにより、サービス提供体制の充実を図っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

事業番号13

1. 事業の概要

実施計画事業名	障がいのある人の社会参加の促進		担当部署名	障がい福祉課
事業の実施目的 及び概要	障がいのある人が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や障がいのある人の状況に応じて、効率的・効果的な事業の推進を図っていきます。			
関連施策	【1-5】 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進	根拠法令 関連計画	障害者基本法 障害者総合支援法 印西市障害者基本計画 印西市障害福祉計画 印西市障害児福祉計画	
取組方針	障がいのある人の社会参加の促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	1 貧困をなくそう  3 健康と長寿を促す  8 豊かになり、持続可能な成長を促す  10 人や国が平等になる  11 住み続けられるまちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・障害福祉サービスの就労選択支援、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がいを経験した差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発	・障害福祉サービスの就労選択支援、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がいを経験した差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発	・障害福祉サービスの就労選択支援、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がいを経験した差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発
事業費	3,417,521千円	3,520,047千円	3,625,648千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-1-2	障害福祉費	障害福祉事業に要する経費
	3-1-2	障害福祉費	障害者自立支援給付事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	・障害福祉サービスの就労選択支援、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援を行った。 ・障がいを経験した差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発を行った。(精神障がい者理解促進講座(3回)、障害者差別解消講演会(1回)、手話講習会(8回)、こころの整理術(5回)、障がい者作品展(1回)、障がい者就職フェア(1回)、小中学校に対し、障害者差別解消チラシのデータ配信依頼(1回))	当初予算	3,417,521,000円
		予算現額	3,796,997,000円
		決算額	3,567,258,944円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	就労系障害福祉サービス利用決定者数	人	目標値	250	285	306	278	308
			実績値	214	253	285	318	431
	差別の解消や理解促進に関する周知・啓発回数	回	目標値	8	8	9	12	13
			実績値	11	12	13	17	20
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	就労選択支援事業利用者数	人	目標値	—	—	—	—	5
			実績値	—	—	—	—	2
	就労移行支援事業利用者数	人	目標値	65	70	75	55	60
			実績値	73	79	74	61	65
	就労継続支援事業利用者数	人	目標値	130	138	146	145	160
			実績値	137	170	191	230	275
	就労定着支援事業利用者数	人	目標値	18	21	24	13	14
			実績値	16	18	16	26	25
	生活訓練事業利用者数	人	目標値	34	39	44	29	31
			実績値	37	41	49	52	64
	差別の解消や理解促進に関する講習等への参加延人数	人	目標値	330	340	370	500	550
			実績値	360	509	531	614	807

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	就労選択支援事業は令和7年10月施行の新規事業であることから利用者が少ない状況にあるが、就労へとつなぐ重要な事業として位置付けられており、今後は伸びていくものと見込まれる。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
より適切な就労支援サービスや就労先を選択できるよう、個々の特性や意向等を踏まえ、その人の状況に応じた自立に向けた支援を行っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	14
実施計画事業名	健康診査及び保健指導の充実	担当部署名	健康増進課 国保年金課	
事業の実施目的 及び概要	高齢化などを要因として全国的に医療費の増加が課題となっており、国民健康保険における医療費の抑制に向け、健康診査の受診率向上などの取組が求められています。本市では糖尿病を中心に、生活習慣病が増加しているため、継続的な運動や食生活の改善をはじめとする健康づくりや、健診などで病気を早期に発見することが求められます。 そこで、健康診査やがん検診等の受診率向上に努め、精密検査の場合には、個別勧奨などにより適切に医療機関へ受診できるよう支援します。加えて個別指導や保健指導などの充実により、市民の健康意識を高め、病気の早期発見や重症化予防など市民の健康増進を支援します。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 高齢者の医療の確保に関する法律 国民健康保険法 第3次健康いんざい21～印西市健康増進計画・食育推進計画・歯と口腔の健口プラン～ 印西市国民健康保険第3期データヘルス計画・印西市国民健康保険第4期特定健康診査等実施計画	
取組方針	健康診査及び保健指導の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	2 良質な医療を 提供しよう  3 すべての人に 健康と福祉を  11 包摂的な都市を つくろう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 ・各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 ・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談事業の実施 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 ・人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施	・健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 ・各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 ・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談事業の実施 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 ・人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施	・健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 ・各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 ・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談事業の実施 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 ・人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施
事業費	345,654千円	345,654千円	345,654千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-1	保健衛生総務費	後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に要する経費
	4-1-1	保健衛生総務費	後期高齢者健康診査に要する経費
	4-1-1	保健衛生総務費	後期高齢者人間ドック等費用助成事業
	4-1-4	健康づくり推進費	健康診査事業
	4-1-4	健康づくり推進費	がん検診事業
	4-1-4	健康づくり推進費	がん検診推進事業
	【国民健康保険特別会計予算】		
	5-1-1	保健衛生普及費	保健衛生普及事務に要する経費
	5-2-1	特定健康診査等事業費	特定健康診査等事業に要する経費
	5-2-1	特定健康診査等事業費	データヘルス事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	特定健康診査については、6月から12月に集団健診と個別健診を実施した。特定健診を受けていない人への受診勧奨通知の他、予約の集中する時期に日程設定を行い、受診率は微増した。 今年度より開始した電話勧奨により、個別・ドックを中心に初回面接実施数は増加している。 人間ドック及び脳ドックの受検者数については、人間ドックが前年度比2人減(受験率0.31%増)、脳ドックが5人減(受験率0.03%増)であり、国民健康保険被保険者数の減少に伴い受検人数は微減であるが、受験率は微増している。助成制度を周知した効果があったものとする。 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について、ポピュレーションアプローチは24団体(R6は22団体)を対象に、ハイレスクアプローチは128人(R6は106人)に実施した。	当初予算	345,654,000円
		予算現額	321,597,000円
		決算額	313,353,659円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	各種健康診査・検(健)診の周知 広報・HP等の掲載	回	目標値	13	14	15	19	20
			実績値	16	19	28	28	28
	がん検診精密検査未受診者への再勧奨(電話・訪問・来所・手紙等)	%	目標値	90	95	95	100	100
			実績値	100	100	100	100	100
	特定保健指導実施率 (法定審査前暫定値)	%	目標値	28	29	30	20	23
			実績値	18.5	18.3	14.7	15.4	14.4
	健康相談実施者数(糖尿病性腎症対策・健診事後相談)	人	目標値	100	105	360	390	395
			実績値	366	396	444	281	299
	人間ドック等受検費用助成の広報・HP等による周知	回	目標値	15	15	15	17	17
			実績値	17	17	17	19	18
成果指標	平均自立期間(要介護2以上)	年齢	目標値	男 81.5 女 84.3	81.7 84.4	81.9 84.5	82.1 84.6	82.3 84.7
			実績値	男 81.5 女 84.2	81.5 84.8	82.1 85.3	82.3 84.8	82.5 84.5
	特定健診の受診率 (法定審査前暫定値)	%	目標値	39.0	39.0	40.0	39.0	40.0
			実績値	37.1	36.3	37.4	37.3	38.6
	がん検診精密検査受診率の増加	%	目標値	90	90	95	95	95
			実績値	88.2	87.5	89.1	87.2	88.9
	印西市国民健康保険被保険者中、糖尿病を原疾患とする新規人工透析導入者数	人	目標値	25	25	23	23	8
			実績値	28	10	9	14	8
	印西市国民健康保険被保険者一人当たりの医療費	千円	目標値	380	400	410	396	396
			実績値	372	379	399	399	405

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	特定健康診査や人間ドック等助成について、多様なツールを取り入れることにより周知が図れた。来所による健康相談は前年度並みの実績となっているため、目標値には届かなかった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	平均自立期間は男女共に横ばいの状況ではあるが、その他の成果指標についても目標値に近い成果となった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	特定健康診査の受診や人間ドック等の受検を促進することができた。健(検)診、その後の相談・指導を通じて平均自立期間(健康寿命)の目標値の達成につなげることができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
特定健康診査の受診や人間ドック等の受検を促進するため、引き続き周知等に努める。また、健診結果をもとに、事後フォローとなる各種相談・指導事業により生活改善支援、医療受検勧奨を行い、市民の生活の質の維持・向上、自立期間の延伸を目指していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	15
実施計画事業名	健康づくり活動の促進		担当部署名	健康増進課 スポーツ振興課
事業の実施目的 及び概要	高齢期をむかえても誰もが住みなれた地域で、生涯を通じて健康で安心して暮らすことができるように、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図る、健康づくりの施策の推進をします。 より良い生活習慣を身につけることは、丈夫な体をつくり、健康の維持・増進につながります。健康講演会や健康教育等の実施や健康情報を発信して、住民が自らの健康に関心を持ち、各年代に合わせた運動や睡眠・休養を含めた健康づくりを行えるよう支援し、禁煙・受動喫煙の防止など、健康増進に向けた取り組みを進めます。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 第3次健康いんざい21～印西市健康増進計画・食育推進計画・歯と口腔の健口プラン～ 自殺対策基本法 いのち支えあういんざい自殺対策計画	
取組方針	健康づくり活動の促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	2 健康と福祉  3 持続可能な開発目標  11 持続可能な開発目標 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)				単位:千円
	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)	
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・健康講演会、健康教育等の実施 ・自殺対策 ・第2次自殺対策推進計画の策定 ・受動喫煙の防止対策 ・健康ポイント事業 ・健康情報の周知・啓発 ・健康相談の実施 ・健康づくりセンター運営事業の実施 ・健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施 ・アピアランスケア支援事業の実施	・健康講演会、健康教育等の実施 ・自殺対策 ・受動喫煙の防止対策 ・健康ポイント事業 ・健康情報の周知・啓発 ・健康相談の実施 ・健康づくりセンター運営事業の実施 ・健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施 ・アピアランスケア支援事業の実施	・健康講演会、健康教育等の実施 ・自殺対策 ・受動喫煙の防止対策 ・健康ポイント事業 ・健康情報の周知・啓発 ・健康相談の実施 ・健康づくりセンター運営事業の実施 ・健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施 ・アピアランスケア支援事業の実施	
事業費	63,002千円	63,002千円	63,002千円	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-4	健康づくり推進費	健康づくりセンター事業に要する経費
	4-1-4	健康づくり推進費	ヘルスアップ教室事業に要する経費
	4-1-4	健康づくり推進費	健康政策推進に要する経費
	4-1-4	健康づくり推進費	健康支援事業
	4-1-4	健康づくり推進費	がん相談支援事業

3. 事業実績等		単位:円	
令和7年度の 事業実績・成果	【健康増進課】 禁煙教育は、市内保育園幼稚園の園児へのオリジナル教材「ナスちゃんともくもくのもり」のパネルシアターの実施と、受動喫煙防止対策事業におけるポスター制作協力していただく市内の中学生、高校生にも禁煙教育を行い、啓発資料を配布して保護者への啓発にもつなげた。 自殺対策では、第1次自殺対策計画が最終年度を迎えたため、第2次自殺対策計画の策定を行った。自殺予防に関する周知啓発として、啓発物の作成及び配布を行い、自殺予防週間および自殺対策強化月間においては、厚生労働省から提供される広報資料（デジタルサイネージや動画等）を積極的に活用し、集中的に周知啓発活動を行った。その他、商工会の協力により働く世代への周知・啓発と、市内高校の協力により高校生への周知・啓発を行えたことで、幅広い世代に対しての自殺対策に関する周知・啓発が行えた。困っている人に対する「気づき」ができる人材を増やすため、ゲートキーパー研修を庁内職員向けと民生委員児童委員、地域包括支援センター職員、社会福祉協議会職員等向けに2回実施し、ゲートキーパーの養成を進めた。 市内12か所の健康情報コーナーにより、健康情報の周知、啓発を行った。 健康ポイント事業は、メリットである協賛店が増えつつあり、参加者も増加傾向にある。引き続き協賛店拡大の取組を進める必要がある。内訳では紙カード（25人）、スマホによる電子カード（60人）となり、昨年度のおよそ2倍の申請があった。 健康相談は、前年度同様の実績となった。今後、内容や対象者選定、相談者のニーズを踏まえ、目標値や周知方法などを検討していきたい。 ヘルスアップ教室では新規参加者数は目標値には至らないが増加がみられた。また、体力年齢においても改善がみられた。 【スポーツ振興課】 ふれあいセンターいんば改修工事に伴い印旛公民館の空き室へ一時移転し、9月から開所。 延べ利用数 4,876人（新規利用者24人）	当初予算	63,002,000円
		予算現額	51,206,000円
		決算額	47,762,741円
		翌年度繰越額	—

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	健康講演会・健康教育等の参加者数	人	目標値	150	170	960	970	980
			実績値	650	842	1066	1465	1572
	健康情報コーナー等による啓発	か所	目標値	12	12	12	14	14
			実績値	12	14	14	12	12
	健康ポイント事業の参加者数	人	目標値	150	170	190	210	230
			実績値	49	76	55	43	85
	健康相談(来所)実施延べ人数	人	目標値	100	105	360	390	395
			実績値	366	396	444	281	299
健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)新規参加者実人数	人	目標値	80	90	100	110	120	
		実績値	62	74	55	61	86	
成果指標	平均自立期間(要介護2以上)	年齢	目標値	男 81.5 女 84.3	81.7 84.4	81.9 84.5	82.1 84.6	82.3 84.7
			実績値	男 81.5 女 84.2	81.5 84.8	82.1 85.3	82.3 84.8	82.5 84.5
	1日30分以上の運動を週2回以上、1年間以上実施している人の割合(%)	%	目標値	58.0	58.5	59.0	59.5	60.0
			実績値	42	43	45	38	31.7
	睡眠で休養が十分とれている人の増加	%	目標値	73	76	79	79	79
			実績値	75	76	75	65	63.6
	たばこを習慣的に吸っている人数	%	目標値	11	9	7	7	7
			実績値	9	9	9	12	12.5
ヘルスアップ教室参加者の入会時から3か月後の体力年齢改善率	%	目標値	80	80	80	80	85	
		実績値	77	88	67	85	90	

5. 事業に対する評価		
評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	健康相談の実施人数は前年度と同様の結果で、目標に届かなかったが、健康講演会・健康教育等の参加者数については増加傾向にある。今後は、対象者のニーズや周知方法等についても検討していきたい。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ヘルスアップ教室の参加者の体力年齢改善率が昨年度に引き続き上昇しており、目標も達成することができた。 他の成果指標に関しては、健康づくり活動につながる支援を実施していけるよう周知を工夫する。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	健康教育は目標達成しており、健康づくりの支援につながった。低い指標が一部見受けられるため、今後も健康づくりの啓発や相談しやすい環境作りが必要。

6. 今後の方向性	
今後の方向性や課題等	
引き続き、市民が自ら健康に関心を持ち、各年代に合わせた健康増進に向けた取り組みを続ける。	

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	16
1. 事業の概要				
実施計画事業名	歯科保健の推進		担当部署名	健康増進課 子ども家庭課
事業の実施目的 及び概要	歯の状態や口腔疾患は、全身の健康に影響します。歯みがきや歯科健診の定期的な受診を促し、家庭や学校、職場などでできる歯みがき習慣の定着化を目指します。また、歯の健康や歯周病予防は、子どもから高齢者まで、年齢に関係なく取り組みが求められます。そこで、歯を失う原因となるう蝕(むし歯)及び歯周病の予防について、口腔衛生に関する正しい知識の普及と歯科健診の受診を勧奨します。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 歯科口腔保健法(歯科口腔保健の推進に関する法律) 印西市歯と口腔の健康づくり推進条例 第3次健康いんざい21～印西市健康増進計画・食育推進計画・歯と口腔の健口プラン～	
取組方針	歯科保健の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	2 目標を せひに  3 すべての人に 健康と福祉を  11 住み続けられる まちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診の受診促進※対象年齢拡大:20歳及び25歳追加 ・幼児歯科健康診査の受診促進 ・妊婦歯科健康診査の受診促進 ・歯科相談の実施	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診の受診促進 ・幼児歯科健康診査の受診促進 ・妊婦歯科健康診査の受診促進 ・歯科相談の実施	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診の受診促進 ・幼児歯科健康診査の受診促進 ・妊婦歯科健康診査の受診促進 ・歯科相談の実施
事業費	8,112千円	8,112千円	8,112千円

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	歯科保健啓発事業として4回開催。二十歳を祝う会で歯科健診の受診勧奨を目的とした啓発物を900枚配布した。 依頼・出前教育では、子ども発達センターや子育て支援センター、児童館において歯科指導及び歯科健診を実施。成人においては、口腔の健康が全身の健康に影響するため、多職種と連携し健康教育活動に取り組み、前年度15回から17回に増加した。 乳幼児期に対しては、公立だけでなく私立の保育園、こども園においても歯科指導を行い歯みがきの習慣化に努めた。また、児童館や子育て支援センター等において保護者へ向けて仕上げ磨きをはじめとする歯科保健教育を実施した(延べ28回) 学校歯科指導は、市内小学校17校、中学校8校で実施し、口腔内環境に適した歯みがき方法を指導した。 その他、就学時健診時に保護者1,327名に向けて、むし歯予防や仕上げ磨きの必要性について資料を配布した。 妊娠期からの歯の衛生習慣を身につけるために妊婦歯科健診を実施し、未受診者に対しては受診勧奨を行った。	当初予算	8,112,000円
		予算現額	6,821,000円
		決算額	6,447,765円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	歯科保健啓発事業の周知(広報・HP等の掲載)	回	目標値	3	3	3	3	4
			実績値	3	3	4	4	4
	依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の増加	回	目標値	68	69	70	78	79
			実績値	58	77	90	104	110
	口腔疾患健診受診者数	人	目標値	254	263	280	280	—
			実績値	176	247	291	256	—
成果指標	歯科保健啓発事業	回	目標値	2	2	2	10	10
			実績値	1	1	4	5	4
	乳幼児う蝕罹患率の減少	%	目標値	11.5	11.3	10.0	7.0	6.9
			実績値	8.4	5.5	5.1	5.5	5.1
	小学生う蝕罹患率の減少	%	目標値	39.3	39.2	39.1	25.0	24.9
			実績値	33.1	25.2	23.6	21.9	19.8
	中学生う蝕罹患率の減少	%	目標値	34.4	34.3	34.2	22.3	22.2
			実績値	21.9	22.5	22.4	28.6	23.2
	小学生の歯肉炎罹患者の減少	%	目標値	13.1	11.0	10.0	9.0	8.9
			実績値	10.9	7.0	7.1	7.7	6.7
	中学生の歯肉炎罹患者の減少	%	目標値	31.3	28.2	25.0	19.4	19.3
			実績値	23.0	19.6	21.2	24.3	24.1
	口腔疾患健診受診率	%	目標値	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5
			実績値	1.4	1.9	2.2	2.0	1.5

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	口腔疾患健診の受信者は伸び悩んでいるため、歯科保健における啓発等の更なる事業推進を行う必要がある。ただし、健康教育や歯科衛生指導は昨年度より増加しているため、次年度以降も継続して事業を進めていく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	乳幼児、児童及び生徒のう蝕・歯肉炎罹患者の減少については、一部目標値に届かない項目はあるもの、改善傾向または目標に近い水準で推移しており、継続した取り組みの効果がみられる。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	本事業は概ね計画通り実施され、効果を上げていると評価される一方、今後は口腔疾患健診等の健診受診率の向上を重要な課題と位置付け、より効果的な受診勧奨および啓発の手法について検討を進める必要がある。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
学校歯科指導や健康教育等については、関係機関と連携を図りながら継続して実施する。あわせて、う蝕・歯肉炎予防、口腔機能の維持・向上を目的として、指導内容のさらなる充実を図る。また、受診率の一層の向上を目指し、効果的な受診勧奨の方法について検討していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	17
1. 事業の概要				
実施計画事業名	食育の推進		担当部署名	健康増進課 子ども家庭課
事業の実施目的 及び概要	健康的な食習慣の大切さを伝え、生活習慣病の予防や健康な身体の発育を促すような生涯にわたる健全な食生活の実践を支援します。 地場産品を活用したレシピなど農業との連携や、給食などを通じた食育など保育・教育との連携を進め、食育推進の実施体制を整備、強化していきます。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	食育基本法 食育推進基本計画(国) 食育推進計画(県) 第3次健康いんざい21～印西市健康増進計画・食育推進計画・歯と口腔の健ロプラン～	
取組方針	食育の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	2 健康を つくる  3 すべての人に 健康と福祉を  11 住み続けられる まちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信 ・乳幼児健診・相談事業の実施 ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信 ・相談事業等での個別支援の実施 ・小中学校を通じた指導・啓発 ・保育園・幼稚園を通じた啓発 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催 ・食育推進関係者研修会の開催 ・食育関係事業者との連携	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信 ・乳幼児健診・相談事業の実施 ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信 ・相談事業等での個別支援の実施 ・小中学校を通じた指導・啓発 ・保育園・幼稚園を通じた啓発 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催 ・食育推進関係者研修会の開催 ・食育関係事業者との連携	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信 ・乳幼児健診・相談事業の実施 ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信 ・相談事業等での個別支援の実施 ・小中学校を通じた指導・啓発 ・保育園・幼稚園を通じた啓発 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催 ・食育推進関係者研修会の開催 ・食育関係事業者との連携
事業費	595千円	595千円	595千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-4	健康づくり推進費	食育推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	【健康増進課】 食育関係者研修会は「子育て施設で取り組む日常の食育活動について」をテーマとし、講師を招き講演会と意見交換会を実施し、市内子育て機関の結びつきを強めることができた。 野菜の皿数については、野菜摂取への意識向上を目的にポスターを作成し、食育月間中に市内協力店舗19店舗で掲示を行った。 市の野菜を使ったレシピを周知するため、野菜摂取啓発資料を作成し、出前授業など健康教育の際に配布した。 【子ども家庭課】 幼児健診では、年齢に応じた食生活のポイントについての資料を配布した。 相談事業では、児童館3か所、支援センター2か所にて、来館された乳幼児をもつ保護者にはぐくみ相談として栄養相談を実施した。 食育事業、教育事業としては、夏休み期間中に親子食育教室として計3回小学校低学年の児童とその保護者を対象とし、野菜摂取についての講話と野菜をたくさん使った料理をテーマに料理教室を行った。 相談事業としては、相談を希望する保護者が多く、訪問や電話にて対応した。 就学時健康診断時対象児童の保護者に、朝食の大切さ、箸の練習方法、野菜の摂取量についての啓発物を配布した。	当初予算	595,000円
		予算現額	470,000円
		決算額	464,141円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	講座・教育の実施回数	回	目標値	20	25	25	45	46
			実績値	43	39	46	45	45
	野菜いっぱい食育レシピ等レシピ配信回数	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24	24	24
	健康相談(来所)実施延べ人数	人	目標値	100	105	360	390	395
			実績値	366	396	444	281	299
成果指標	栄養士調整会開催回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	1	2	1
	食育関係者研修会開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	—	—	1	1	1
	健康相談の内容を理解し、生活改善目標がたてられている人の割合	%	目標値	95	95	97	100	100
			実績値	100	100	90	78	87
	野菜いっぱい食育レシピ等レシピポスト(旧ツweet)をみた人数(平均)	人	目標値	2,000	2,200	2,300	2,400	2,500
			実績値	2,569	1,557	1,600	1,222	1,233
	1日に5皿以上の野菜料理を食べている人の割合	%	目標値	10	15	20	20	20
			実績値	6	7	9	8	10
	食育関係者研修会参加者の市食育推進計画への理解が深まった人の割合	%	目標値	80	85	90	95	95
			実績値	—	—	100	97	94
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	横ばいであるが、家庭教育学級や高齢者団体での健康教育を通し、食事の大切さや食に関する災害時の備えなどを伝えることができた。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	1日5皿以上の野菜を食べている人の割合は概ね同水準で推移していた。市で公開している野菜を使ったレシピを周知するため、野菜啓発資料作りを行い、出前授業等で配布したが、なお一層の啓発に取り組むたい。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	1日5皿以上の野菜を食べている人の割合が依然として低く、課題解決を模索している。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
【健康増進課】 野菜の摂取量が少ない人が多い状況が続いており、望ましい量を知らない人もまだ多い状況であるため、日常生活のなかで情報を得られやすくするような食環境整備を進め、多くの機会を通じて周知に努めていく。また、より推進体制を強化できるよう、食育関係者研修会において意見交換の時間も充実させたい。 【子ども家庭課】 親子食育教室は昨年度に好評であったことを受け、各回の組数を増やした。幼児期・学童期から出来るだけ多くの人に食事や料理に興味を持ってもらえるような事業展開について検討していく必要がある。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	18
1. 事業の概要				
実施計画事業名	医療体制の充実		担当部署名	健康増進課
事業の実施目的 及び概要	市民が医師との信頼関係をもとに日常的な医療や健康の相談ができる「かかりつけ医」や「かかりつけ薬局」を持つことの重要性を周知するとともに、誰もがいざというときに必要な診察が受けられるように医療体制の整備・充実を図ります。特に休日・夜間などの急患に対応するための救急医療体制の充実を図ります。			
関連施策	【1-7】医療体制・健康危機管理対策の充実	根拠法令 関連計画	第3次健康いんざい21～印西市健康増進計画・食育推進計画・歯と口腔の健口プラン～	
取組方針	医療体制の充実及び在宅医療と介護の連携推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に健康と福祉を  11 住み続けられるまちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援(補助額の拡充)	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援
事業費	90,000千円	90,000千円	90,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-1	保健衛生総務費	地域医療推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	新型コロナウイルスや季節性インフルエンザ等の感染症、熱中症に関する注意喚起及びいざという時・急病時の相談先情報等の周知を実施した。また、2次救急及び小児2次救急医療機関(日本医科大学千葉北総病院、印西総合病院)への財政支援を増額するとともに、光熱水費等の物価高騰対策として、有床医療機関(日本医科大学千葉北総病院、印西総合病院、西佐倉印西病院、みらいウィメンズ)に対し、支援金の交付を行った。	当初予算	90,000,000円
		予算現額	142,344,000円
		決算額	142,344,000円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	かかりつけ医等を持つことの重要性の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	13	14	15	16	17
			実績値	13	14	15	16	17
	休日・夜間などの急病時の相談先等の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	3	14	15	16	17
			実績値	13	14	15	16	17
	救急医療機関への財政支援	件	目標値	1	1	2	3	3
			実績値	0	0	1	3	3
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	医療機関数	機関	目標値	90	92	95	97	100
			実績値	91	90	92	94	97
	市内医療機関への救急搬送率	%	目標値	44	45	46	47	48
			実績値	38	40	43	48	52
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	いざという時・急病時の相談先等の周知を行うとともに、2次救急医療機関への財政支援及び有床医療機関への財政支援を行った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	市内医療機関数は3医療機関の増、救急搬送率は4%の増となった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	引き続き、かかりつけ医や急病時の相談先等の周知を図っていくとともに、救急医療機関への財政支援を行い、医療体制の充実に努める。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
かかりつけ医の重要性、いざという時・急病時の相談先等の周知を行うとともに、医療体制の充実を図っていく。 市内医療機関への救急搬送率を高めるため、財政支援を継続して行っていく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	19
実施計画事業名	健康危機管理対策の推進		担当部署名	健康増進課
事業の実施目的及び概要	感染症の流行を防ぐため、感染症予防対策についての意識の向上を図るとともに、予防接種の知識の普及や接種機会の安定的な確保を図ります。また、救命率の向上のため、市内公共施設等におけるAED(自動体外式除細動器)の設置を推進するとともに市民への周知を図ります。			
関連施策	【1-7】医療体制・健康危機管理対策の充実	根拠法令 関連計画	第3次健康いんざい21～印西市健康増進計画・食育推進計画・歯と口腔の健口プラン～ 予防接種法 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	
取組方針	健康危機管理対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に健康と福祉を  11 安全な都市とコミュニティを築く 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・予防接種費用助成事業 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業 ・感染症予防施策の実施	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・予防接種費用助成事業 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業 ・感染症予防施策の実施	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・予防接種費用助成事業 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業 ・感染症予防施策の実施
事業費	860,289千円	860,289千円	860,289千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-2	予防費	健康危機管理事業
	4-1-2	予防費	予防接種事業
	4-1-2	予防費	感染症予防に要する経費
	4-1-4	健康づくり推進費	健康政策推進に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	市民へ感染症の状況に応じて、広報やホームページ、公式LINE等で注意喚起および感染症拡大防止、予防対策についての周知・啓発を行うとともに、定期予防接種や予防接種費用助成事業等を実施し、安定的な接種機会の確保に努めた。また、救命率向上のため、市内公共施設等におけるAED(自動体外式除細動器)の設置継続を行い、市民への周知を図った。(ロードサイドに立地するコンビニ35台、公共施設34台)	当初予算	860,289,000円
		予算現額	890,059,000円
		決算額	539,488,186円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	感染症予防対策の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	13	14	15	16	40
			実績値	26	26	36	52	47
	AED(自動体外式除細動器)設置状況等の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	3	4	4	5	6
			実績値	2	2	4	5	6
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	24時間営業のコンビニエンスストアへのAED(自動体外式除細動器)設置	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100
	市内公共施設等へのAED(自動体外式除細動器)設置	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	各種感染症予防のため、広報・ホームページ、行政情報掲載、公式LINE等で予防対策等の周知を行った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	24時間営業のコンビニエンスストア及び市内公共施設等すべてにAEDを設置している。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	感染症予防についての啓発を図り、意識を高めることができた。コンビニ設置AED及び市内公共施設等すべてに三角巾等を設置し、利用しやすい環境整備に努めた。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市民の安全安心な生活を守るために引き続き取り組んでいく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

			事業番号	20
実施計画事業名	スポーツ参加機会の拡充		担当部署名	スポーツ振興課
事業の実施目的 及び概要	スポーツ人口の拡大を目的に、市民スポーツ大会及び教室を関係団体と連携し継続的に開催するとともに市民がスポーツに親しみ、スポーツに対する関心を図ることのできるイベントの開催やトップアスリートによるイベントの開催誘致に努めます。 また、市民が身近にスポーツ活動に親しめる場として学校体育施設の利用促進に努めるとともに快適に活動ができるよう、継続的にスポーツ施設の維持管理・改善検討を行います。			
関連施策	【1-8】 スポーツ活動の推進	根拠法令 関連計画	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、印西市スポーツ推進基本計画、第13次千葉県体育・スポーツ推進計画、第2期印西市子ども・子育て支援事業計画、第2次健康いんざい21(改訂版)～印西市健康増進・食育推進計画～、印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画、第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	スポーツ参加機会の拡充			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を  17 パートナーシップで 世界をよりよく 変えよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	★スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・アスリート教室の開催 ・スポーツ施設の利用促進 ・民間等プール利用券配付事業の実施 ★パラスポーツ体験会・パラアスリート講演会の開催 ★スポーツ施設の維持管理 ★パークゴルフ場、フットサルパークの運営 ・松山下公園陸上競技場公認継続(第4種ライト)経費	★スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・アスリート教室の開催 ・スポーツ施設の利用促進 ・民間等プール利用券配付事業の実施 ★パラスポーツ体験会・パラアスリート講演会の開催 ★スポーツ施設の維持管理 ★パークゴルフ場、フットサルパークの運営	★スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・アスリート教室の開催 ・スポーツ施設の利用促進 ・民間等プール利用券配付事業の実施 ★パラスポーツ体験会・パラアスリート講演会の開催 ★スポーツ施設の維持管理 ★パークゴルフ場、フットサルパークの運営
事業費	135,744千円	110,750千円	106,119千円

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	スポーツ教室については、ニュースポーツ教室9回(271名参加)、クライミング教室9回及び認定会2回(216名参加)、リフレッシュ教室90回(1,994名参加)、印西アスリート教室1回(117名参加)、パラスポーツ体験会15回(1,113名参加)、陸上クリニック1回(99名参加)の教室を開催した。市民ぐるみのスポーツイベントであるスポーツ健康フェス(1,200名参加)を開催した。学校体育施設の利用については、市内小中学校27校及び旧小学校2校において、学校体育施設の開放を実施した。また、市内民間プール等を活用し、小中学生に利用券の配布事業を実施した。 スポーツ施設の維持管理及びパークゴルフ場、フットサルパークの運営については、市民がより快適にスポーツに親しむことができるよう日々の整備、修繕に努め、施設環境を整えた。	当初予算	135,744,000円
		予算現額	135,744,000円
		決算額	94,323,304円
		翌年度 繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	スポーツ教室開催数	回	目標値	143	150	150	150	150
			実績値	97	133	140	142	130
	学校体育施設利用団体数	団体	目標値	210	215	220	220	220
			実績値	185	185	192	189	202
			目標値					
			実績値					
成果指標	スポーツ教室参加者数	人	目標値	3,600	3,700	3,800	3,900	5,000
			実績値	1,867	4,354	4,968	6,092	5,064
	学校体育施設利用者数	人	目標値	5,900	6,000	6,100	6,100	6,100
			実績値	4,455	4,797	4,792	4,754	4,804
	スポーツ施設利用者数	人	目標値	370,000	380,000	500,000	510,000	520,000
			実績値	496,843	500,477	505,381	366,998	698,984
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	スポーツ教室や大会、スポーツイベントなど、各種スポーツ活動は概ね計画どおり実施され、市民がスポーツに親しむ機会の充実が図られている。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	スポーツ参加者数や施設利用者数は一定数を維持しており、健康増進やスポーツ意識の向上につながっている。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	さらなる参加促進に向け、多様なスポーツ機会の提供や情報発信の充実を図り、継続的にスポーツに親しめる環境づくりを進めていく必要がある。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
スポーツへの参加機会の拡充を図るため、誰もが参加しやすい環境づくりや情報発信の強化を進め、市民が気軽にスポーツに親しめるようスポーツ教室などを開催していく。

令和7年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

1. 事業の概要			事業番号	21
実施計画事業名	スポーツ団体や指導者への支援		担当部署名	スポーツ振興課
事業の実施目的 及び概要	市民がスポーツを行う際に適切な指導を受けることができる環境を整えるために、市スポーツ協会、市スポーツ少年団、その他スポーツ団体の活動を支援し、競技力の向上及び指導体制の強化を図ります。 また、あらゆる世代がスポーツに参加し、指導を受けることができる総合型地域スポーツクラブの設立を支援するとともに、既存クラブの育成を行います。			
関連施策	【1-8】 スポーツ活動の推進	根拠法令 関連計画	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、印西市スポーツ推進基本計画、第13次千葉県体育・スポーツ推進計画、第2期印西市子ども・子育て支援事業計画、第2次健康いんざい21(改訂版)～印西市健康増進・食育推進計画～、印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画、第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	スポーツ団体や指導者への支援			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 すべての人に 健康と福祉を  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 			

2. 実施計画の内容(第5次実施計画)(★は市長公約事項)

単位:千円

	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	令和9年度(2027年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	★団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民スポーツ大会、印旛駅伝の選手派遣 ・各種セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成	★団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民スポーツ大会、印旛駅伝の選手派遣 ・各種セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成	★団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民スポーツ大会、印旛駅伝の選手派遣 ・各種セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成
事業費	36,051千円	36,051千円	31,420千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-6-2	体育振興費	スポーツ推進委員に要する経費
	9-6-2	体育振興費	印旛郡市スポーツ大会に要する経費
	9-6-2	体育振興費	スポーツ振興に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和7年度の 事業実績・成果	市スポーツ協会、スポーツ少年団などの活動の支援を行った。(補助金交付等) 印旛郡市スポーツ大会17種目及び印旛駅伝に際し、選手の派遣を行った。(269名) 全国大会出場奨励金を交付した(77名) 運動教室等にスポーツ推進委員を講師として派遣を行った。(3回) スポーツ医学セミナーを開催した。(1回・19名参加) 熱中症対策セミナーを開催した。(1回・35名参加) 総合型地域スポーツクラブへの支援を行った。(活動場所の確保等) 市民スポーツ大会の支援を行った。(38回・4021名参加)	当初予算	36,051,000円
		予算現額	36,051,000円
		決算額	25,072,520円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	スポーツ団体数 (スポーツ協会・少年団)	団体	目標値	39	40	40	40	40
			実績値	38	37	37	40	39
	郡市民スポーツ大会・印旛駅伝参加数	種目	目標値	17	17	17	17	17
			実績値	-	16	17	17	17
	総合型地域スポーツクラブ数	クラブ	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	スポーツ医学セミナー開催数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
	市民大会開催数	回	目標値	34	34	34	34	34
			実績値	16	26	30	35	38
成果指標	スポーツ団体会員数 (スポーツ協会・少年団)	人	目標値	3,500	3,520	3,540	3,560	3,580
			実績値	3,395	3,142	2,936	2,997	3,407
	スポーツ指導者数	人	目標値	145	147	149	151	157
			実績値	141	155	156	152	152
	総合型地域スポーツクラブ会員数	人	目標値	99	100	105	110	115
			実績値	69	82	78	91	100
	スポーツ医学セミナー参加人数	人	目標値	20	20	20	20	25
			実績値	47	23	22	27	19
	市民大会参加者数	人	目標値	7,400	7,450	7,500	7,550	7,600
			実績値	2,097	3,664	3,831	4,361	4,021

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	参加者の拡大や継続的な参加促進に向け、多様なニーズに対応した活動内容の充実や、情報発信・連携強化を進めていく必要がある。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	スポーツに親しむ機会の充実や参加促進が図られており、一定の成果が見られるが、さらなる成果向上に向け、参加機会の充実や情報発信の強化を図っていく必要がある。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	計画に基づく各種施策・事業は概ね推進され、市民がスポーツに親しむ環境づくりが進められている。 今後は、多様なニーズに対応したスポーツ機会の充実や、参加促進に向けた情報発信を強化していく必要がある。

6. 今後の方向性

今後の方向性や課題等
市スポーツ協会、スポーツ少年団などのスポーツ団体や指導者への支援を継続するとともに、地域スポーツ活動の活性化や競技力向上を図りながら、担い手や指導者の確保・育成を進め、持続的なスポーツ環境づくりに取り組んでいく。また、各種団体と連携し、市民大会等の参加者を増やしていく。